

4月27日全校朝会講話 ～祝日の意味について考えよう～

4月も最後の週になりました。

新しい生活には慣れたでしょうか。教室には、皆さんが立てた目標が張り出されています。その目標の実現に向けて努力を積み重ねていきたいものです。

さて、世の中では、ゴールデンウィークと呼ばれる大型連休がやってくる時期となりました。4月29日：昭和の日、5月3日：憲法記念日、5月4日：みどりの日、5月5日：こどもの日 こういった祝日が並びます。

そこで、それぞれの祝日について、少し調べてみました。

「昭和の日」は、昭和の時代を顧み、国の将来に思いをいたす日、「憲法記念日」は、日本国憲法の施行を記念し、国の成長を願う日、「みどりの日」は、自然に親しみ、その恩恵に感謝する日。「こどもの日」は、子どもの人格を重んじ、幸福を願う日という意味があります。

祝日はたくさん種類がありますが、共通しているのは「自然や命に感謝し、これからの自分たちの生き方を考える日」ということです。

祝日は、ただの“お休み”ではなく、「大切なことを思い出すための日」です。

こうしてみんなで集まっているこの時間も、自分のまわりの自然や支えてくれる人たちのおかげと考えれば、当たり前なことではないと感じるものです。

新聞やテレビのニュースに関心をもって、祝日のもつ意味から、私たちの生活や社会について考えてください。